日本共産党
都議会議員

そねはじめレポート
# はじめ～る通信
5月15日(日)
No.100
発行：そねはじめ事務所
〒114-0032 北区中十条2-11-6
Tel：3907-1135　Fax：3906-3225

そね都議

大切なバス路線なくさないで！

住民とともに国際興業本社に要請

住民に長く利用されてきた、浮間と赤羽を結ぶ「赤06」系統のバス路線が、七月末にも運行中止を強行される動きです。4月27日、そねはじめ都議は、池内さおり衆院議員、ながいともこ区議、さがらとしこ区議と浮間の方がたとともに国際興業本社を訪問。「浮間バス利用者の会」の代表が「赤06のバス路線はお年寄りの通院や買物の貴重な乗り物で、区が補助をやめた場合も継続してほしい」との要請書を手渡しました。

住民の声で実現した区の補助が打ち切りに！

野田課長代理は、赤06路線が1台の乗客約20名の8割以上が、シルバーパス利用のため「赤字」と強調。3年前に運行を中止したが、住民の強い復活要望を受け、区が赤字の半額を補助して試し運行してきたと説明。しかし乗客は増えず、区が補助を七月までと決めた経過を説明。区の補助が延長できれば再検討すると答えました。

「赤字額」は正確なのか

会社側との交渉の中で、バス会社がシルバーパスによる収入について実際よりはるかに小さく見積もって赤字を計算している疑いが浮上しました。東京都が高齢者本人に代わり会社に払っている金額を正確に計算すれば、実際の赤06路線の赤字はより少ない可能性があります。地域の大事なバス路線を継続させるため、今後も徹底して運動と世論を広げましょう。

（国際興業で要望する池内さおり衆院議員・そねはじめ都議と参加者）

中央メーデー

戦争を許さない 3万人以上が結集

5月1日、初夏の暑さの中、第87回中央メーデーが代々木公園で開かれ、3万人を超える労働者などが参加しました。そね都議は会場で、北区労連や土建北支部、ほくと医療生協や医労連などの参加者を激励し、デモ行進の最後に連帯の挨拶を送りました。

（メーデー会場で、北区労連の旗を持つ）

東京都のおしつけ
道路行政は許さない!

“特定整備路線”とたたかう住民運動が交流集会開く

4月30日、住民無視の都の道路事業とたたかう住民運動の交流と、学習のつどいが130人の参加で開かれました。

岩見良太郎氏が、東京五輪をてこに都心や品川新駅など、一極集中とバブル経済をあおる巨大開発や、幹線道路計画がうごめいている現状を講演しました。

30日に文京シビックセンターで開かれた住民集会

コミュニティー破壊に怒りを共有

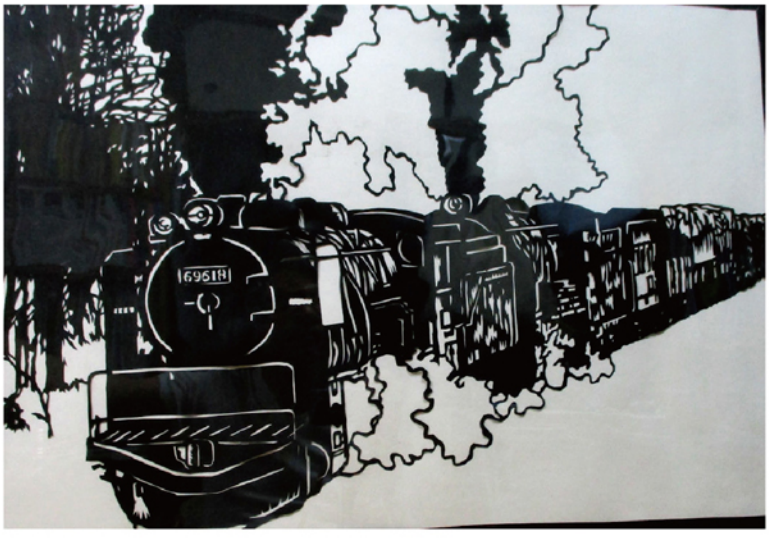
後半は「特定整備路線」とたたかう各地の住民運動を交流。いずれも反対者の多い道路計画を、「火災延焼を防ぐ」とか「救援の車を通すため」など“防災”を理由に一気に事業認可させ、測量や買収工作を進めています。共通なのは「防災は名ばかり。何より大切な地域住民の絆を断ち切り、まちの防災力を奪うもの」への怒りです。

都市計画道路の資料を分析して

そねはじめ都議は、3月末に開示請求にこたえて公開された、都市計画道路に関する2千ページを超える資料についての、分析を報告しました。

そね都議は「より詳しい内容が知りたいとの期待も発言され、責任の重さを痛感しています。」と、5月中に、都の道路行政の問題点をえぐるレポートの公表めざして奮闘しています。

そねはじめ切り絵の世界45

昭和50年の北海道 SL重連

最後のＳＬ王国といわれた北海道からも、昭和50年を期に貨物・旅客ともにＳＬが姿を消しました。この切り絵は、最後の冬の雪の中、千分の３の勾配を重連で進む貨物列車です。